



# 石巻西高実況中継

～学校の情報や生徒の様子をリアルタイムで家庭に届けます～

平成29年6月19日 第20号

発行者：校長 伊藤 俊

## 一西高を支える庁務のお二人～ 〈環境美化に努める二人の庁務さん〉



(北條さん)

(榎戸さん)



(校門付近 校木ユリの木)



(中庭の樹木)

県の高校総体ソフトボール競技会場となった本校ソフトボールグラウンドですが、外野の芝生がメイン会場の鷹来の森グラウンドと同じように整備されていました。

正門から校舎に向かいながら、敷地内の樹木を見てください。教室に入ったなら中庭の樹木を見てください。丁寧に剪定され、きれいに整備されています。

廊下や階段を歩くとき、きれいに磨かれた床を見てください。33年目を迎えた学校と思えないほどきれいです。いくつかあるプロフェッショナルな仕事の一端の紹介に過ぎません。

写真で紹介したお二人の本校庁務の方々のお仕事によるものです。榎戸さんは5年、北條さんは7年の勤務となります。震災直後からのご勤務ですから、ご苦労もありません。お二人のお陰で、美しい環境で、「安全で安心」な教育活動が日々出ています。北條さんには卓球部のご指導もいただいています。お二人に会ったときに感謝の気持ちを込めて挨拶してください。

○榎戸 滋さん：私はシャイですので、自ら進んで声がけすることはありません。高校生は自分の孫よりも年下ですので、ギャップを感じます。西高生は、まじめでおとなしい生徒が多い印象ですが、会った時には元気よく挨拶してくれます。清掃活動にも一生懸命取り組んでいますので大変立派だと思います。

○北條 敏治さん：物を壊すような生徒もなく、グラウンドの草取りをしてくれる生徒もいます。礼儀正しく、行事にも積極的でも何言うことはありません。7年前、たった一人の女子部員から始めた卓球部。震災直後で「卓球が出来ること自体が幸せ」と思って始めました。短い練習時間で効率よく、今や支部大会連覇、県でもベスト8までできました。昔は「俺についてこい」が今は「生徒について行っています。」

## 一東松島市総合防災訓練一

6月18日(日)9:00から本校で、東松島市総合防災訓練が行われ、地域の住民の方約200人が本校に集まりました。



本校弓道場隣のグラウンドには東松島市との協定で備蓄庫が設置され、非常用食料、飲料水、発電機、毛布、浄水器が用意されていて、万が一に備えています。これとは別に本校では全校生徒3日分の備蓄があります。あれから6年、宮城・岩手内陸地震から9年、宮城県沖地震から39年経ちますが油断せずに備えなければなりません。決して風化させることなく、後世に語り継いでいかなければなりません。